



*Ideas & Chemistry*

2012.11.06

# 2012年度第2四半期 決算説明会



東洋紡株式会社  
取締役社長  
坂元龍三



# 決算のポイント

## 上期実績

- 1Q不振も2Q回復により上期目標達成。想定 of 収益軌道へ
  - 液晶関連の数量は回復、包装用フィルムは新製品効果で底打ち
  - 機能樹脂、エアバッグなど自動車関連好調、利益に貢献
  - バイオ、医用膜の回復で、ライフサイエンス2Q堅調

\*1Q:4-6月、2Q:7-9月

## 通期予想

- 自動車市場の下振れ懸念も、フィルム等の新製品、新用途拡販とライフサイエンスの復調で、通期利益予想達成の見込み。

(億円)

	11年度			12年度				
	上期	下期				上期	下期(予)	
				1Q	2Q			
売上高	1,781	1,714	3,495	831	881	1,711	1,789	3,500
営業利益	110	73	183	22	54	76	104	180
当期純利益	52	-6	46	5	22	27	37	64

# 目次

I

2012年度第2四半期累計決算概況

II

2012年度業績予想

III

中期計画進捗

IV

訴訟

## I . 2012年度第2四半期決算概況

## (1) 決算概要 ①PL・CF

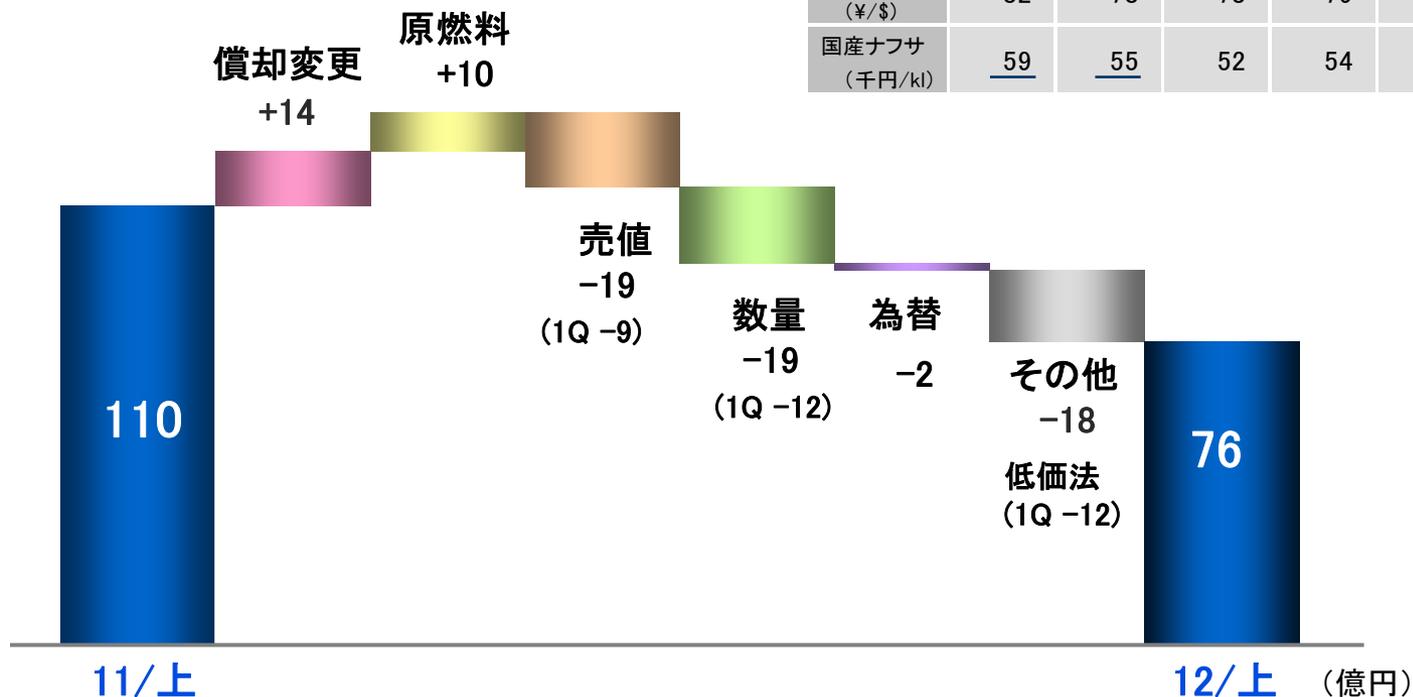
(億円)

	11上	11下	12上			前年同期比		直近見通し (2012/8)
			1Q	2Q		金額	率	
売上高	1,781	1,714	831	881	1,711	-70	-3.9%	1,750
営業利益	110	73	22	54	76	-34	-30.9%	70
(率)	6.2%	4.2%	2.7%	6.1%	4.5%	-	-	
経常利益	101	56	18	47	65	-37	-36.1%	60
当期純利益	52	-6	5	22	27	-25	-48.0%	23
EPS(円)	5.9	-0.7	0.6	2.5	3.1	-	-	2.6
減価償却費	95	100	32	32	64	-31	-32.3%	
設備投資	72	93	31	37	68	-4	-5.1%	
営業CF	96	46	-	-	146	+50	+51.8%	
為替レート(円/US\$)	80	78	80	79	79			
国産ナフサ価格(千円/KL)	57	53	61	51	56			

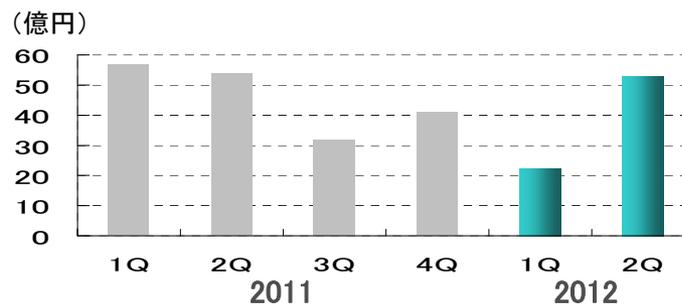
# 営業利益増減要因分析（前年同期比）

【11年度上期→12年度上期】

	2011/1Q	2Q	3Q	4Q	2012/1Q	2Q
円レート (¥/\$)	82	78	78	79	80	79
国産ナフサ (千円/kl)	<u>59</u>	<u>55</u>	52	54	<u>61</u>	<u>51</u>



## 【営業利益推移】



## ②BS

## 財務体質は改善途上も、棚卸資産は1割弱圧縮

	11/3末	12/3末	12/9末	(億円) 12/3末比 増減
総資産	4,435	4,378	4,294	-84
うち棚卸資産	660	776	708	-67
純資産	1,498	1,477	1,469	-8
自己資本	1,258	1,306	1,296	-10
(自己資本比率)	28.4%	29.8%	30.2%	-
少数株主持分	240	172	173	+2
有利子負債	1,518	1,549	1,542	-7
D/E レシオ	1.21	1.19	1.19	-

## (2) セグメント別

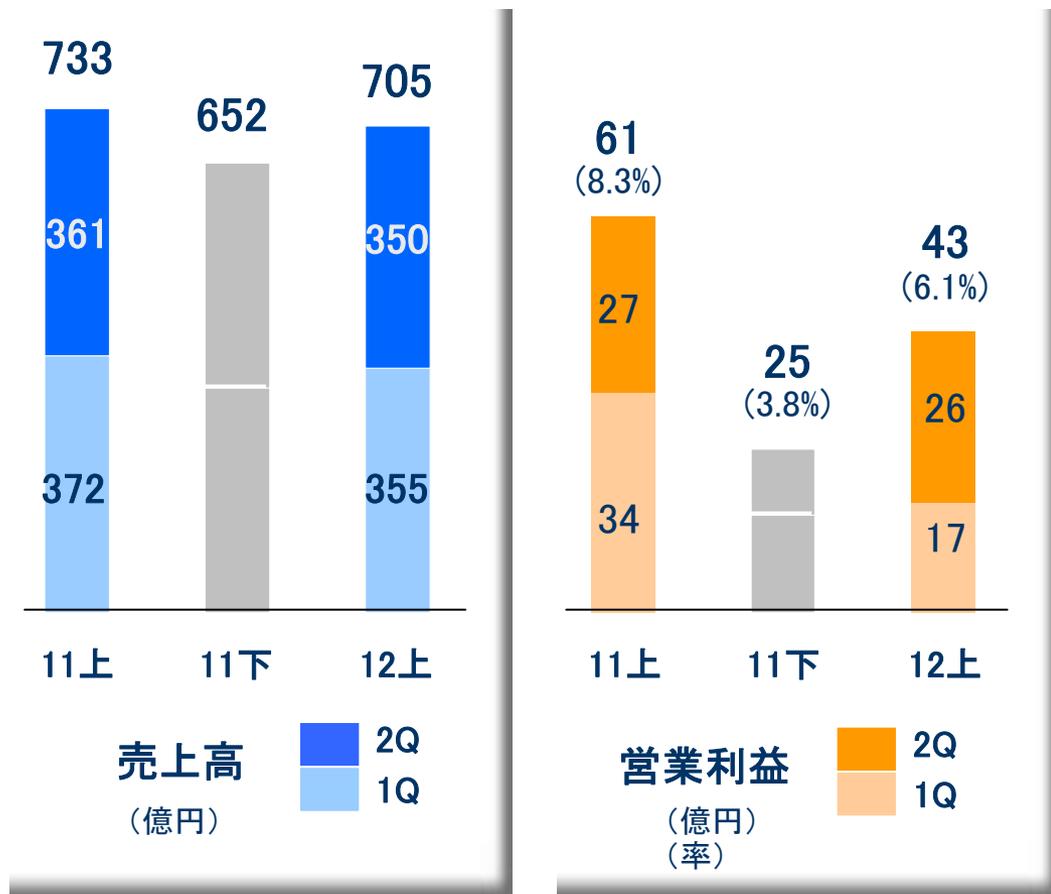
(億円)

	売上高			営業利益			前年同期比 (率)
	11上	11下	12上	11上	11下	12上	
フィルム・機能樹脂	733	652	705	61	25	43	-29.5%
産業マテリアル	343	369	350	24	29	26	7.1%
ライフサイエンス	131	134	126	20	21	16	-20.2%
スペシャルティ計 (率)	1,207	1,155	1,182	105 8.7%	75 6.5%	85 7.2%	-19.3%
衣料繊維	442	438	408	9	2	-5	
不動産・その他	132	121	121	11	13	12	
消去・全社	-	-	-	-15	-18	-16	
合計	1,781	1,714	1,711	110	73	76	-30.9%

\* 2012年度よりファインケミカル事業はライフサイエンス→フィルム・機能樹脂へセグメント変更

## ① フィルム・機能樹脂

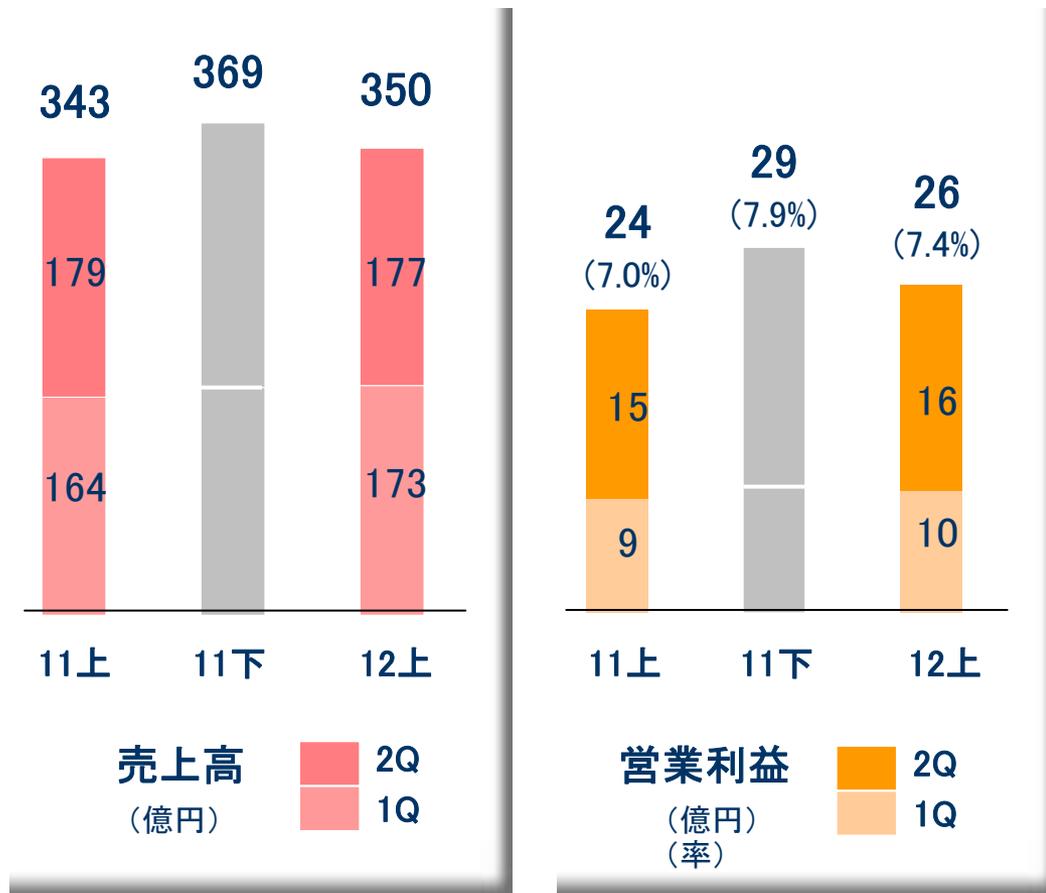
工業用フィルムは、液晶用途で数量は回復  
 包装用フィルムは、需要減の影響残るも新製品効果で底打ち



- **工業用フィルム**  
 液晶向け輸出牽引で数量は回復  
 非液晶向けの拡大加速
- **包装用フィルム**  
 震災後の需要減の影響残るも  
 新製品効果で底打ち  
 新シュリンクフィルムは拡大
- **機能樹脂**  
 バイロンは海外売上拡大  
 エンプラは自動車向け好調

## ② 産業マテリアル

エアバッグは、自動車生産回復により堅調  
VOC処理装置は、海外案件の延引により苦戦



## ● 自動車用途

エアバッグは堅調  
タイヤコードはユーザー生産調整他により苦戦

## ● スーパー繊維

ダイニーマは中国品との競争激化  
ザイロンは需要堅調

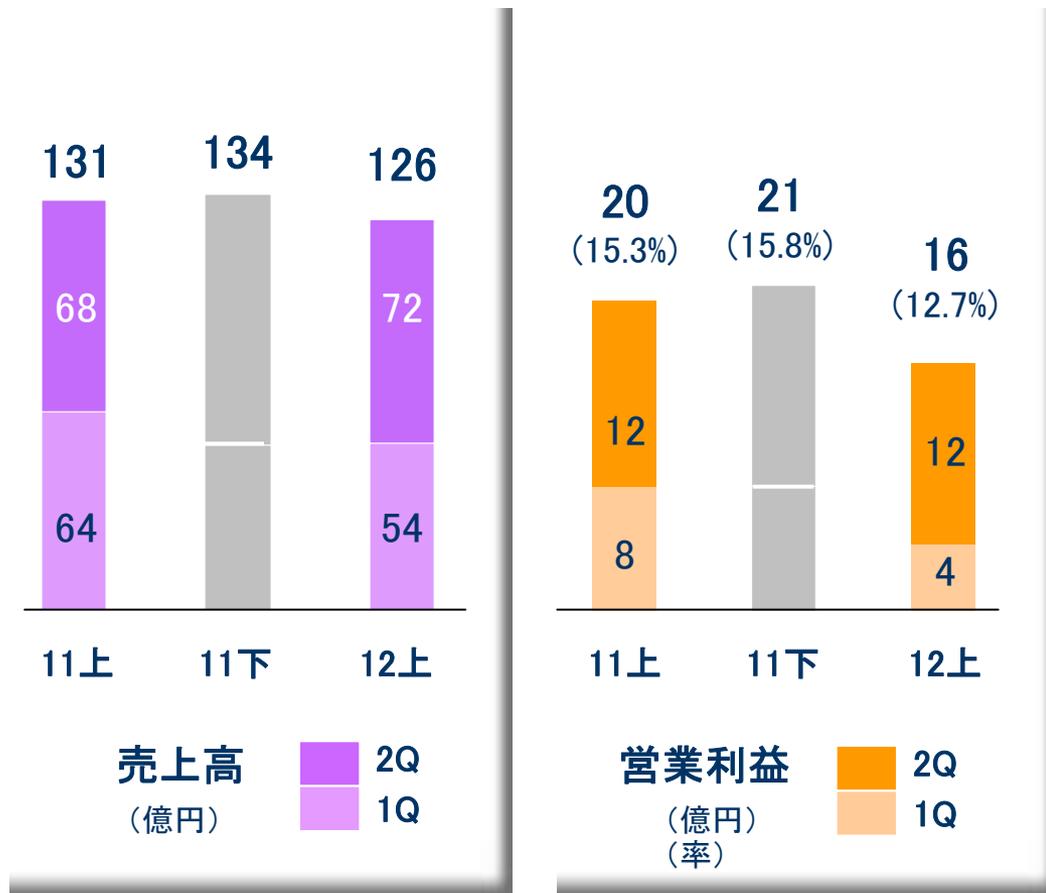
## ● 機能フィルター

VOC\*処理装置の海外展開苦戦  
\*揮発性有機溶剤

空調用などフィルター数量減

## ③ ライフサイエンス

バイオ、医用膜は、1Q数量減。足元の需要堅調  
 新製品「神経再生誘導チューブ」の承認審査中



## ● バイオ

診断薬用酵素はユーザー在庫調整も  
 足元回復

## ● 医薬・医療機器

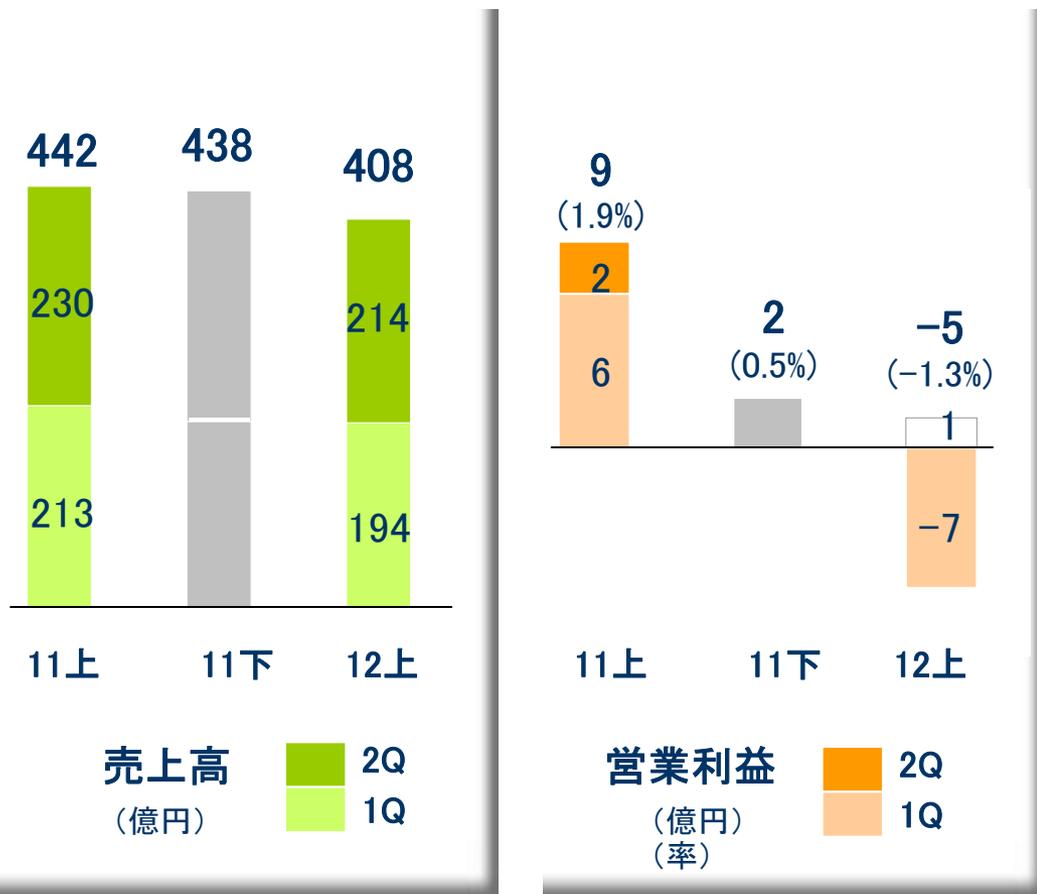
医薬品製造受託は堅調  
 新製品「神経再生誘導チューブ」の  
 開発順調。承認審査中

## ● アクア膜

為替影響。大型案件獲得続く

## ④ 衣料繊維

1Qの棚卸資産評価減により大幅減益  
ナイロン事業他苦戦も、スポーツ製品は順調



## ● 東洋紡STC

ナイロン関連は、アウトドア等の市況低迷により苦戦

スポーツ向け機能素材順調

中東向けトープは数量堅調も為替影響

## ● アクリル繊維

中国の内需減速により数量減

## Ⅱ. 2012年度業績予想

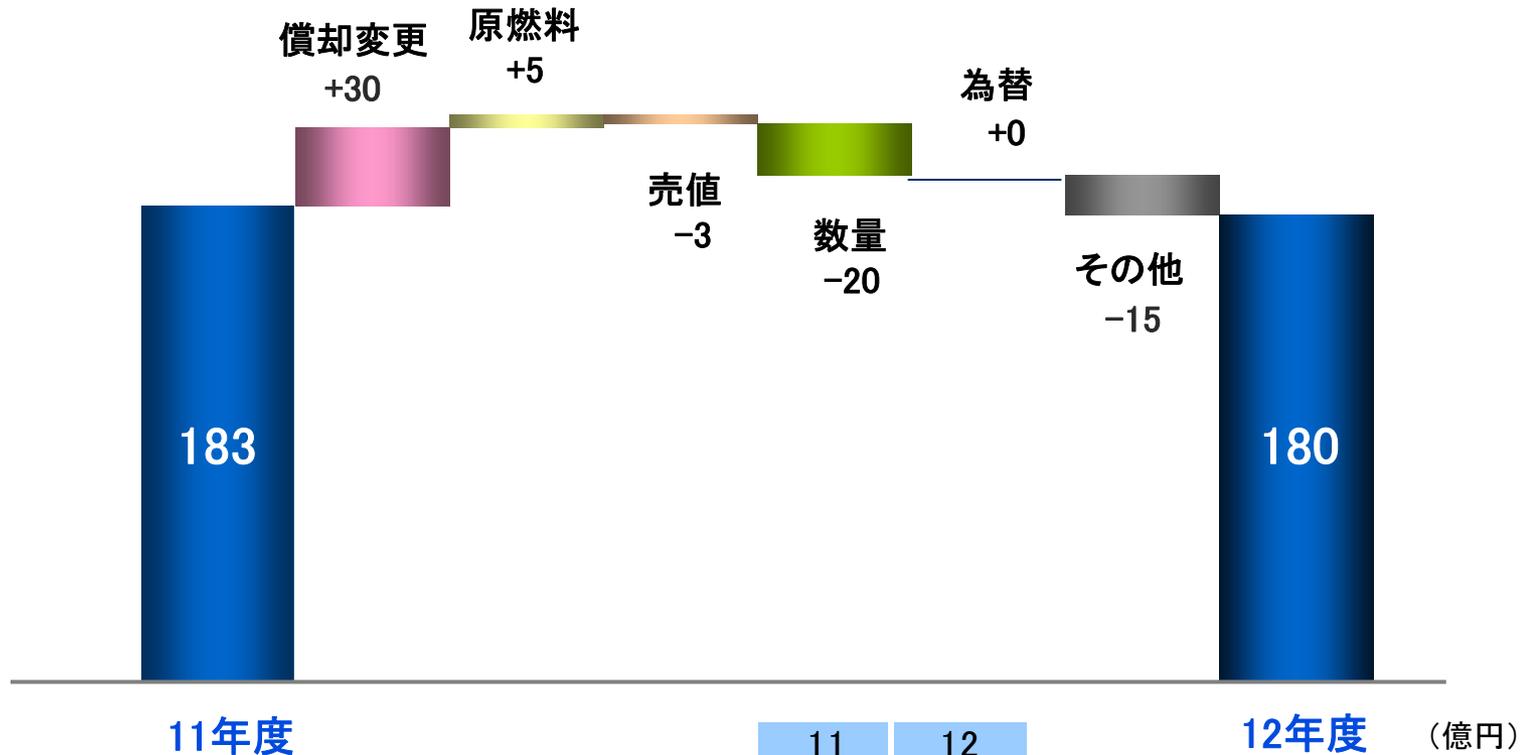
## (1) 業績予想

(億円)

	11年度実績	12年度予想			増減	
		上	下		金額	率
売上高	3,495	1,711	1,789	3,500	+5	+0.1%
営業利益	183	76	104	180	-3	-1.7%
(率)	5.2%	4.5%	5.8%	5.1%	-	-
経常利益	157	65	85	150	-7	-4.6%
当期純利益	46	27	37	64	+18	+39.5%
EPS(円)	5.2	3.1	4.2	7.2	-	-
減価償却費	195	64	76	140	-55	-28.1%
設備投資	165	72	128	200	+35	+21.1%
為替レート(円/US\$)	79	79	79	79		
国産ナフサ価格(千円/KL)	55	56	52	54		

# 営業利益増減要因予想

【11年度→12年度】



	11	12
円レート (¥/\$)	79	79
国産ナフサ (千円/kl)	55	54

## (2) セグメント別業績予想

(億円)

	売上高				営業利益					12年度 上期→下期 増加率
	11年度	12年度予想			11年度	12年度予想				
		上期	下期			2Q	上期	下期		
フィルム・機能樹脂	1,384	705	729	1,434	86	26	43	52	95	
産業マテリアル	712	350	380	730	53	16	26	28	54	
ライフサイエンス	266	126	130	256	41	12	16	23	39	
スペシャルティ計 (率)	2,362	1,182	1,238	2,420	180 7.6%	54 9.0%	85 7.2%	103 8.3%	188 7.8%	+21.2%
衣料繊維	880	408	412	820	11	1	-5	5	0	
不動産・その他	253	121	139	260	25	7	12	13	25	
消去・全社	-	-	-	-	-33	-9	-16	-17	-33	
合計	3,495	1,711	1,789	3,500	183	54	76	104	180	+36.1%

\* 2012年度よりファインケミカル事業はライフサイエンス→フィルム・機能樹脂へセグメント変更

### Ⅲ. 中期計画進捗

(1) 中計進捗状況 「最終目標に向けて」

■ 経営方針：「不断のポートフォリオ改革」

	12年度 予想			(億円) 13年度 目標
売上高	3,500			3,600
うちスペシャルティ (構成比)	2,420 69%			2,520 70%
営業利益 (率)	180 (5.1%)			270 (7.5%)
	1Q	2Q	下期	
	22	54	104	

270億円に向けて **【MG90】**

- ・製品ポートフォリオ改革加速 (新製品・新用途)
- ・全社コストダウン活動

## (2) アクションプラン

1) 能力増強 (M&A、アライアンス含む)

2) 海外展開加速

3) 製品ポートフォリオ改革 (新製品開発)

### (3) 進捗状況

#### 1) 能力増強 (M&A、アライアンス含む)

- ・ハイブリッド型フィルム新ライン増設 ('13/下 稼動)



#### フィルム事業の生産体制強化

- ・注射剤製造設備増設 ('12/下 稼動)

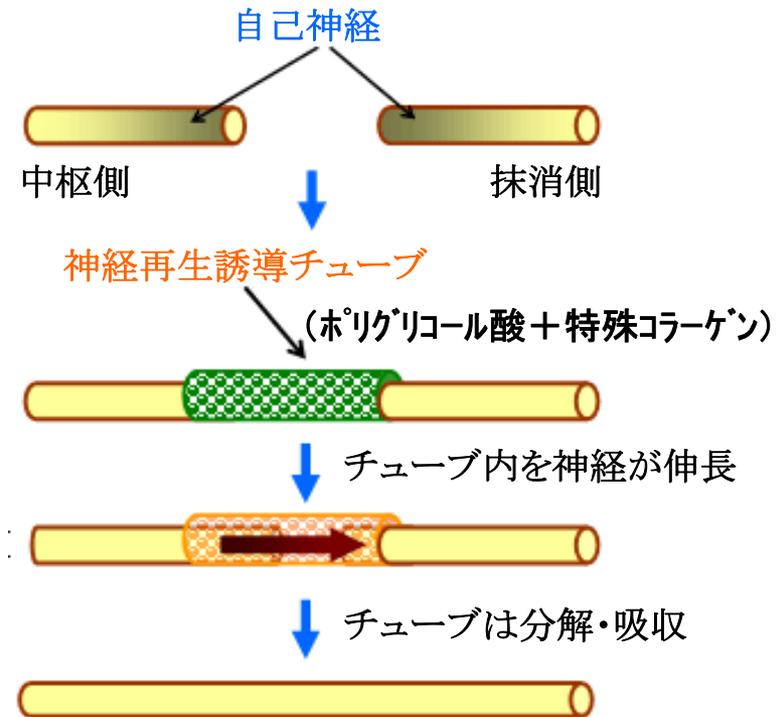
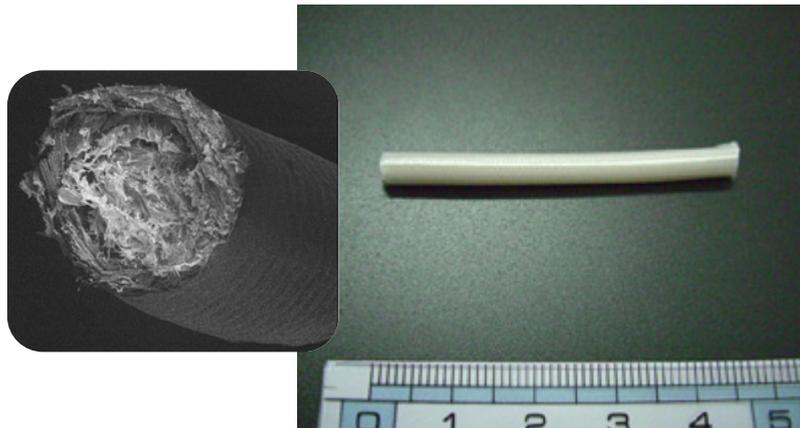
#### 2) 海外展開加速

- ・機能樹脂「バイロン」のタイ製造 ('14/1 立上げ)
- ・エアバッグ北米製造販売 ('12/12 立上げ)
- ・機能性クッション材欧州展開 ('13/上 立上げ)
- ・アジア他の開発体制強化

製品ポートフォリオ改革

損傷した神経を再生する治療用医療機器  
「神経再生誘導チューブ」を開発、承認審査中

- 1) 日本初の治療用デバイス
- 2) 自己移植同等以上の効果
- 3) 一次救急病院でも対応可能



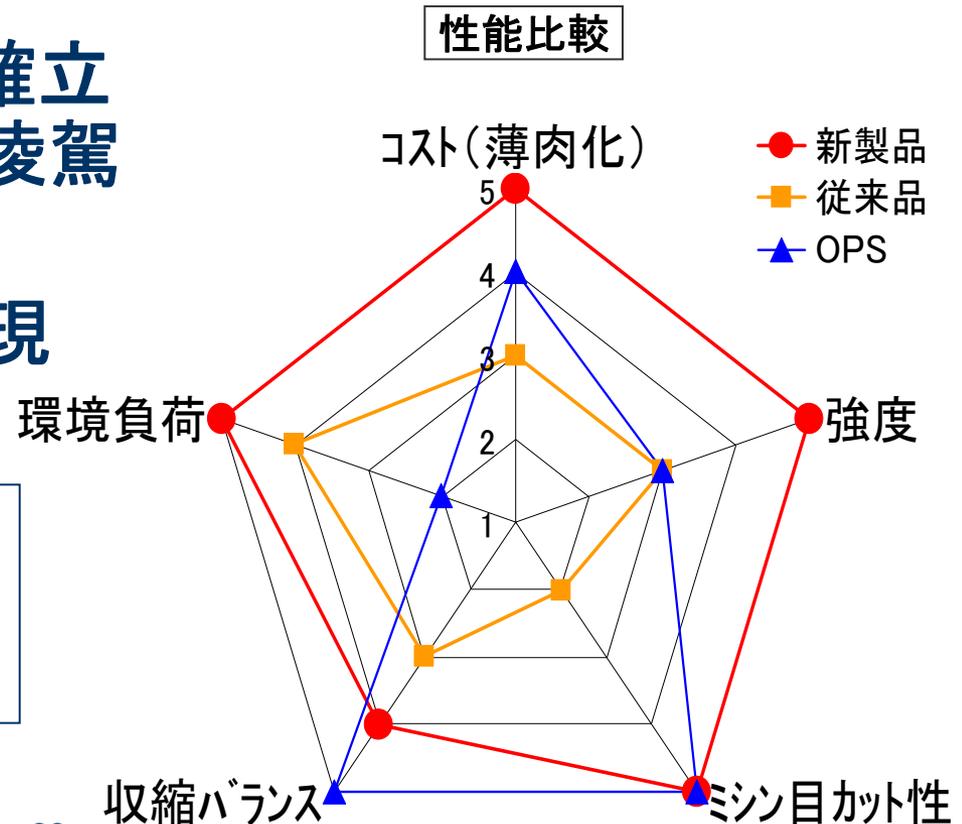
修復後、感覚が回復

# 製品ポートフォリオ改革

## 薄肉化と強度を両立し、生産性を従来比約2倍に高めた 新PETシュリンクフィルムを拡販中

- 1) 特殊製膜・延伸技術を確立  
薄肉化と強度でOPSを凌駕
- 2) シン目カット性も改良
- 3) 約2倍の増速生産を実現

\* 現在、売上ベースでピーク時('04)の60%、面積では85%まで回復。  
来年度、売上更新を目指し拡販中



## IV. 訴訟

## 訴訟関連

### <概要>

- ① 03年6月、ザイロン繊維使用の防弾ベスト事故(米国ペンシルバニア)(貫通事故:1件)
- ② 事故被害者、同種ベスト購入者等が、防弾ベストメーカー、当社に損害賠償請求を提起
- ③ 防弾ベストメーカーの元取締役が米国不正請求禁止法に基づく訴訟を提起、  
米国政府(司法省)がこの訴訟に原告として参加
- ④ 事故を起こしたメーカー以外の防弾ベストに関しても、米国政府(司法省)が訴訟を提起

### <解決済みの訴訟－いずれも和解による解決>

- ・購入者からの集団訴訟－2005年10月
- ・事故被害者からの訴訟(PL関連訴訟)－2006年から2007年
- ・ドイツ州政府からの訴訟－2009年2月
- ・防弾ベストメーカーからの訴訟－2011年7月(2件)および2012年3月

### <訴訟状況>

(2012.11.5現在)

	クラスアクション	PL関連	政府関係		防弾ベストメーカー			政府関係
	購入者	警官	アーカンソー州	米国司法省	セカンドチャンス	ポイントブラック	ファーストチョイス	ドイツ州政府
原告	購入者	警官	アーカンソー州	米国司法省	セカンドチャンス	ポイントブラック	ファーストチョイス	ドイツ州政府
状況	和解成立 (05年10月)	和解成立 (06～07年)	訴状受取後 動きなし	証拠開示 手続	和解成立 (11年7月)	和解成立 (11年7月)	和解成立 (12年3月)	和解成立 (09年2月)
件数	10件	4件	1件	2件	1件	1件	1件	1件

補足資料

# スペシャルティ事業と展開市場

市場 事業セグメント	自動車	電子・ 情報表示	環境	ライフ サイエンス	生活・ 安全
フィルム・ 機能樹脂	エンジニアリングプラスチック	光学用フィルム	太陽電池バックシート用フィルム		包装用フィルム
		高耐熱性成型用樹脂 共重合ポリエステル ポリオレフィン用接着付与剤 アクリレート系機能樹脂	PET用新触媒		
産業 マテリアル	エアバッグ用基布 機能フィルター 不織布		VOC処理装置 機能フィルター		スーパー繊維 機能性クッション材
ライフ サイエンス			水処理膜	医用膜 診断薬用酵素 診断システム 医薬品製造受託	 化粧品原料

## ご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡株式会社